

## 第2回 木曾川・笠松エリア利用調整協議会「承認・意見確認シート」による意見とその対応方針等

各資料に対する意見や提案等	対応方針等
<b>■資料1 第1回協議会結果概要</b>	内容
・承認 全11名	・協議会結果として承認を得られたものとする。
<b>■資料2 社会実験の実施</b>	内容
・承認 全11名	・社会実験内容として承認を得られたものとする。
・事前と事後の実験実施者同士の顔合わせと反省会を実施するのが望ましい。	・まずは事前打合せを設定し、各種確認やコミュニケーションを図ることとする。
・情報発信は大切であり、事務局だけでなく、実験実施者のネットワークを利用することも必要。	・実験実施者各々による情報発信も促す。
・人の流れ、情報の流れを把握することが重要。	・人の流れはカメラ調査を実施し、情報の流れはSNSでの把握やアンケートによる情報ツールの把握を行う。
・現場での社会実験実施中の表示。	・公園内各所に実験別の貼紙を設置する。
・各種社会実験を実施するにあたり、笠松町以外（隣県含む）への高齢者に対する情報発信が「チラシ」のみとなっているので、HPやWEB以外の手段で何かあれば、より一層の広報ができるのではないかな。	・現在のところ、WEB以外の情報発信方法は、チラシ以外では「広報かさまつ」となっており、町外への発信力が十分に確保できていないため、今後の課題とさせていただきます。
・検証内容として、事業化する際に必要となる公園のインフラや条例等の整備と実現性も加えると良い。	・必要となるインフラや条例等については、実験実施者へのアンケートで課題や提案として意見を得るものとし、実現性についてはそれを受けた検討事項とする。
・週末、祝日に目玉となる企画が多い方がより集客を得られるのではないかな。	・今回の社会実験ではそこまでの調整が困難であったため、次年度以降の改善に向けた参考とさせていただきます。
・同じエリアでやっているのだから、単体では無く関連性を持たせられると面白かったのではないかな。	
・商工会加入事業所を社会実験に参加させるべきではないかな。	・みなとキッチンへの参加を依頼する。
<b>■資料3 社会実験の効果検証</b>	内容
設問5のBBQはありかな。	・BBQは、今回は実施しない（昨年度の例として提示したため、設問に含まれていた）。
川遊びは暖かくなってから。3月はあくまでテスト。天気は雨や風速4m/s以上は不可（SUP体験会）。	・左記の主旨や天候対応にて、今回の実験を実施していただく。
事業者への質問で、例えば採算性が悪かった場合でも、場所や季節が良かったが、悪天候が続いたなど、質問2と質問3の両方の内容が関連する場合が想定される。利用者の属性として、子供連れ家族やグループ、夫婦なども分かると良い。	・悪天候については質問3の選択肢⑦に「場所や時期は良かったが」と追記する。 ・質問2と3は相互関係にあるため、回答分析の際に配慮する。 ・利用者属性は、アンケートに選択肢を追加する。
・アンケートの回収方法の検討が必要。特にキッチンカー関係の人は各々来て帰るスタイルのため回収するタイミングが難しいと思われる（郵送かFAX）。	・採算性等の判断についてうかがう場合、後日あらためてFAXやメール等で、実験実施者・出店者の方から回答を得る方式が良いかと検討中。
<b>■資料4 事業計画への追加提案</b>	内容
・サイクルステーションやランニングステーション。	・特に環境楽園との連携を図る工夫として、今後の検討課題として参考とさせていただきます。
<b>■資料5 先進事例視察報告</b>	内容
・ジップライン、みなと公園から一宮（サイクリングロード）	・将来構想の検討の参考とさせていただきます。
・B&G海洋クラブの活用。	・今後の水辺の活動における連携相手として検討する際の参考とさせていただきます

各資料に対する意見や提案等	対応方針等
・やはり実行委員会が必要、プレイヤーとの連携の仕組み作りがあつてこそ続いていくと思う。	・社会実験を通じ、そうした土壌形成を図っていけるよう検討する。
・県と市が協力して整備を進めている点、漁協が協議会のメンバーになっている点が良いと感じた。	・将来的な事業の発展に応じ、ステークホルダーの連携のあり方として参考とさせていただきます。
<b>■その他 自由意見</b>	内容
・みなと公園から河川環境楽園をボート（舟下り、サイクリングロードでつなぐ（連携）。	・「リバーサイドタウンかさまつ計画」の令和構想でも検討した内容であり、今後の検討の参考とさせていただきます
笠松町らしいコミュニティ作りが急務となると思う	・地元の人材や資源等を活かした川の活用につなげていけるよう検討